

GOOD LIVING HEADLINE

ビジネス
ユーザーの皆様へ

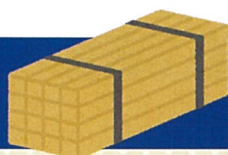
10
2019

商品のトレンドや新しい制度などお役に立つ情報を、日頃お引き立ていただいているビジネスユーザーの皆様へ発信します。

キャッシュレス決済サービスが続々登場!

建設業の
資金繰りを
サポート!

建設業は入金より前に資材の購入が必要となる一方、工事代金の支払いは工事終了の翌月以降というケースが多く、中小企業にとっては資金繰りが悩みの種。そんな悩みを解決するべく、建設業を対象としたキャッシュレス決済サービスが登場しています。今号では代表的な決済サービスの概要をご紹介します。



資材の購入代金は後払いで!

Case 01
＜ローカルワークス後払い＞

「ローカルワークス後払い」は、スマートフォンのQRコード決済を活用し、キャッシュレスで商品を購入できる決済サービス。

これまで与信が通りにくかった中小企業や個人事業主に対しても90%を超える通過率で最大1,000万円の後払い決済が可能になりました。また、商品購入の度に発生する経費精算の手間が省け、月末一括請求なので従業員による立替や小口の現金管理も不要になります。

● ここがメリット ●

審査の
通過率90%以上
最大1,000万円の
後払い決済

スマホのQRコードを
見せるだけ!
面倒な手続きは不要

経理業務を軽減
買物履歴管理で
不正利用も防止



工事代金を立替えて即日支払い!

Case 02
＜助太刀Pay＞

「助太刀Pay」は、工事代金を助太刀が立替えて受注者に即日支払うサービス。

発注者は指定した日までに助太刀に工事代金を支払えばよく、支払日は最長翌々月末まで指定できます。

工事受注者はすぐに工事代金を受け取れるメリットがあるため、工事発注者は助太刀Payの利用をアピールすることで人手を集めやすくなります。

● ここがメリット ●

工事代金は
セブン銀行ATMで
すぐ受け取れる

即日払いのアピールで
人手を
集めやすい

初めての取引先でも
支払いが確実



受注者



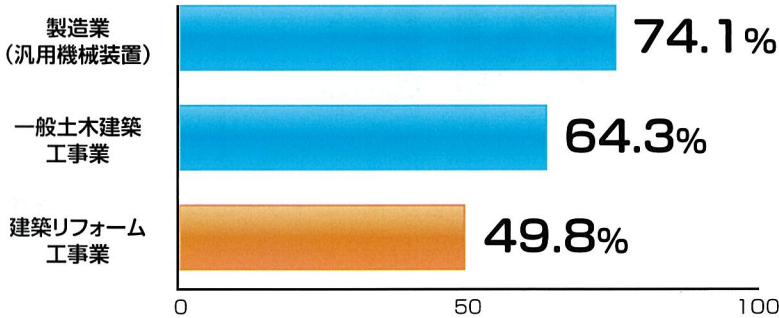
発注者

翌々月末まで
代金支払いを
後ろ倒しできる

裏面に続きます▶

建築リフォーム工事業の黒字企業割合は49.8%

業種別黒字企業割合



収益改善の一手として キャッシュレス決済に期待

TKC調査によると、建築リフォーム工事業の黒字企業割合は過半数を下回っており、収益改善に課題を抱える企業が多いことがわかります。こうした中、キャッシュレス決済サービスは資金繰りをサポートするほか、経理業務の削減や現場の人手確保に有効活用できることから、導入する企業が今後ますます増加していくと見込まれます。

出典:TKC経営指標速報版(平成31年3月決算~令和元年5月決算)

好評発売中!

SHOWER ROOM RJS

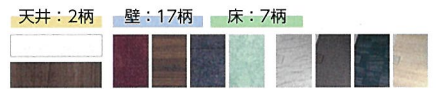
限られたスペースの中で理想の住まいを叶える「ハウステックのシャワールーム」



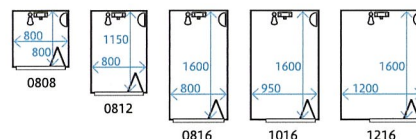
賃貸住宅にピッタリ!
This is it!

豊富なカラーでデザイン性の高い内観へ。

内観のよさも契約の重要なポイント。壁・床・天井も選べるデザインで、他の物件とは一味違う魅力的な空間を演出できます。



コンパクトからゆとりあるサイズまで選べる5サイズ。



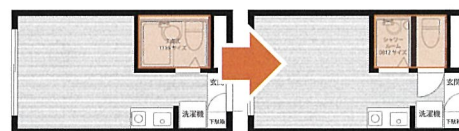
今、賃貸物件で求められているのは狭くてもバス・トイレ別+キレイな内観!



※出典:「お住まいに関するアンケート」SUUMO調べ(2017年3月)



シャワールームなら居住空間を確保しつつバス・トイレ別を実現できます。



This is it!
シャワールームにすると...
・居間スペースが狭くならない
・シンプルな構造で入居者のお掃除しやすいのでメンテナンスコスト軽減

※掲載の内容は、発売時に一部仕様変更になる場合があります。詳しくは、弊社営業までお問合せください。

編集後記

他の先進諸国に比べ普及が遅れていた日本においても、キャッシュレス決済サービスが急速に普及し始めています。現状では個人消費での利用がメインですが、経済産業省が平成30年4月に発表した「キャッシュレス・ビジョン」にもある通り、今後は企業対企業におけるキャッシュレス決済推進が加速していくでしょう。このサービスが、資金力の弱い企業の活力となることを願います。